

## 努力賞

なつねこを読んで

荒川区立汐入東小学校三年

前澤 花音

やなぎだくにお先生、こんにちは。

くにお先生は、ふうりんは、すきですか？わたしは、夏のふうりんが大すきです。

わたしは、「なつねこ」という本を読んで、「ふうりんのひみつ」について考えました。ふうりんは、なぜあんなにすてきな音をひびかせることができるのでしょうか。

この本は、風の森にすんでいるねこの兄妹がふうりんを作っているお話です。

わたしは、ふうりんのひみつは、「風」と「光のつぶ」だと思いました。風は、とおくかなたまで

たびをして帰ってきて、たびの思い出を歌って話してくれます。きっとその風は、海や島、お花畑などいろいろなところをたびをして帰ってくるのだと思います。そして、たとえば、「海でイルカが気持ちよさそうにとびはねていたよ。」とか、「お花畑にピンク、黄色、白などきれいなお花がいっぱいさいていたよ。」など、楽しいお話をやさしく歌って教えてくれるのだと思います。だから、ふうりんは、おだやかで心にひびく音なのだと思います。そして、兄妹は、光のつぶを集めています。光のつぶも歌いながら、すてきな色でふうりんをかがやかせてくれているのかなと思いました。

わたしは、この兄妹のように、まわりの人にもやさしい気持ちでいたいです。そして、いろいろなことを考えたり、そうぞうしたりして、新

しいことをたくさん発見していきたいです。